

第3回 瑞浪市市民まちづくり会議 グループワークまとめ

資料1-2

と き：令和6年7月26日(金)19時00分～

ところ：瑞浪市役所西分庁舎1階会議室

1グループ

思ったことや感想、特に評価すべき点 緑

- ・思いを持った人が手を挙げる機会になったことが良かった
- ・とても良かった。住民が地域のことを自分ごととして話せたこと
- ・新たな人材が発掘出来た
- ・まちづくりの新しい担い手が出てきたことが良かった
- ・地域の課題 陶が共通理解が出来た
- ・問題意識から共通認識になったワークショップ
- ・まちづくり活動の指標が出来た
- ・まちづくりの方向性がなんとなく住民の中で合意出来たことが良かった
- ・若い人の新しいアイデア、提案 例-花
- ・様々なアイデアが聞けて良かった
- ・より具体的な計画と実施体制
- ・総合計画と地域計画との整合性は

改善点や不足する部分(市民側) 黄色

- ・町民全体での盛り上がりがなかった。PR 不足では？
- ・まちづくり組織の改革 やらされ感のあるものは思い切ってやめる
- ・まちづくり組織の改革 団塊世代が担ってきたことすべては、もう出来ない所以でスリム化する
- ・まちづくり組織の改革 やりたい人が集まってグループをつくり、そこに予算をつける
- ・参加者の固定化 もっと多くの人が
- ・参加者の顔ぶれがいつも一緒
- ・若い人の参加が少ない
- ・メンバーの広がり

改善点や不足する部分(行政側) 赤

- ・実施するにあたり予算助成が必要である
- ・3回では少なすぎた
- ・3回では少ない？
- ・ワークショップの時間がもっと欲しかった
- ・職場に入りこんで伴走出来る体制、スキル
- ・職員がファシリを出来るようにトレーニング

2 グループ

思ったことや感想、特に評価すべき点 緑

- 町内の課題が明確になり共通理解が出来た
- 市内の全ての町協が作成出来て良かった
- 共通価値、理念、将来像を決める場をつくれた
- まちづくりを可視化出来た⇒文字
⇒実践
- 参加者が増える
- 高校生から80代まで奥の参加者の思いが聞けた
- 学校や団体等、巻き込んで動くことがよい
- 地元を良くしようと考えている市民が多くいる 良い
- 子どものためにと思いをもつ人がいる

改善点や不足する部分(市民側) 黄

- 時間配分がうまくいかなくて終わってしまったことが残念
- 参加者のフィードバックがやや不足していたと思う
- 事前のグループ分けで話し合いのリーダー的な人がグループにいることが大切
- 第1回からの焦点化がやや甘いと思った
- 人数のバランス（課題別）が悪かったと思う
- 誰かがやってくれるという他人まかせが多い
- いつも同じ人が役をもっている 個々が協力する
- やりたいことベースで見直してもよいのでは？⇒前例
- 子ども、若者の意見も！（行政も）
- 後継者育成
- 伴走者育成

改善点や不足する部分（行政側） 赤

- 町内に広がる方法を事前に伝えておくが良い
- 町の課題をある程度焦点化してファシリテーター（進行役）が進めて打ち合わせを
- 事前の町協の執行部との打ち合わせが不十分であった
- 地域と行政の「間」の作り方の工夫がいる
- 職員の配置について地域の意見を聞く会
- CS との連携（学校と地域の連携）
- ワークショップ開催の情報提供不足 知らない人が多い（瑞浪地区）